

パブリックコメントに対する考え方

No.	意見	市の考え方
1	P13 2.2.6. その他の公共交通	誤解を与えないように文言の修正をいたします
	石津地区社協と下多度地区社協が無償の移送サービスを行っているとなっているが、下多度地区は実費の有償移送サービスですので、誤解されないように訂正願います。石津地区と下多度地区は形態が全然違う	
2	P57 図6-1	文言の修正をいたします
	下多度駅ではなく美濃津屋駅では。	
3	P62 【事業Ⅰ-8】 公共交通利用ガイド作成	次回公共交通利用ガイドを作成する際に明記できないか検討していきます
	コミュニティバスと駒野駅、石津駅での鉄道との乗り継ぎ時間を時刻表に明記できないか	
4	P68 【事業Ⅲ-1】 公共交通関連イベントの実施	事業主体に追加いたします
	〔事業主体〕に、さらに地域企業、市民活動団体を加えたらどうですか	
5	P69 【事業Ⅲ-2】 運転免許自主返納の促進	運賃体系を見直す際に優遇制度について検討をしていきます
	返納者の支援が1回のみになっていますが、3年から4年まで、毎年実施することに変更できませんか。返納が進まないと、無理して運転して事故も増え、コミュニティバスの利用も減ることになる	
6	P70 【事業Ⅲ-4】 住民主体移動サービス支援	路線の再構築の際に住民主体の移送サービスについて支援できるように新たな制度の創設も視野に入れながら検討をしていきます
	住民主体の（地区社協など）の移送サービスにおいて海津市の支援を受けるには「かいづ夢づくり協働事業」を活用しなければ受けられないようになっていますがもっと柔軟に実績などに基づいて支援する制度も必要ではないか	
7	デマンドバスの予約が取れない、費用がかかる問題があるので早急に対応してほしい	計画策定後速やかにとりかかります
8	相乗りの促進とか予約時に迂回して相乗りさせるなど利用率を上げる方策は考えられるが、受付、利用者とも相乗りするインセンティブはないので今のままでは利用率が上がる可能性は低い。過去の受付を分析しデマンドではなくルート（曜日、時間別）運行とか、受付時にルートを調整しながら受付するようにできないか。そのためには受付に職員が関与しないとイケない。関与することができないなら、廃止が望ましい	今後、路線の再構築やデマンド交通の見直しを行う際に検討をしていきます

パブリックコメントに対する考え方

No.	意見	市の考え方
9	海津市ではいくつか施策が検討されているが、各々同時に検討していて整合はとれるのか	今後計画を推進していく中で、各部署と連携を取りながら事業を推進していくことで他の部署との整合性を図っていきます
10	都市計画の見直しの必要性など大きな課題が議論できないのではないかと	公共交通に関する議論になってしまうが、都市計画に係る部分も大きいことから、必要に応じて議論をしていきます
11	海津羽島線について石津駅か駒野駅のどちらかへは直通してほしい	路線の再構築の際に検討をしていきます
12	昼間の時間帯や夜間にあつては、「南幹線で海津温泉または海津市役所まで、その後に海津羽島線で岐阜羽島駅へ」でも「バスを一度降りて乗り換えて」ではなく「時間調整で系統替えはするが、同じバスに乗ったままで運行」させられないか	路線の再構築の際にバス事業者と協議をしていきながら検討をしていきます
13	現状の各線とも、始発や海津市役所停留所の発車「分」が全便とも異なっているため、非常に乗りにくい状態になっている。「分」を揃え、渋滞遅延対策と運転手の休憩時間に充ててほしい	路線の再構築の中でダイヤを改正する際にバス事業者と協議をしていきながら検討をしていきます